

(2) 教科指導

本校児童の学力向上は長年の課題であり、基礎学力の定着に向け、次の事に留意して取り組みを進める。

ア 教科指導の充実

- ・ 時間数の確保に努める。
- ・ 学年の到達目標、各教科の基礎基本の指導を徹底する。
- ・ 興味を持たせる学習法の研究実践をする。
- ・ 単元の毎時間のめあてを精選する。

イ 学習意欲をかきたてる。

- ・ 教科指導の中で、子ども達に充実感を味わわせ、学習への意欲を持たせることを教師の最も大切な課題とする。
- ・ 子ども一人ひとりに学習目標をもたせる。

ウ 学習のしかた、態度を身につけさせる。

- ・ 挙手のしかた、発言のしかた、学習用具の扱い方などについて学年相応に発展的な指導を徹底する。
- ・ 各教科の学習のしかたをわからせる。
- ・ 家庭学習の内容・方法を、学年・学級に応じて工夫する。

エ 教材・教具の効果的な利用

- ・ 教師の創意工夫により幅広い教材教具の製作準備を行い、指導の効果をはかる。

オ 各教科

- ・ 国語 ① 音読を大切にし、正確に理解する能力を身につけさせる。
② 語彙を広げ、適切に表現し、伝え合う力を高めさせる。
- ・ 社会 ① 観察・調査・見学・体験などの活動を大切にしながら表現する力を身につけさせる。
② 社会的事象を多面的に捉えたものの見方や考え方ができるようにさせる。
- ・ 算数 ① 基礎的な知識と技能を身につけ、多様な考え方ができるようにする。
② 学んだことを活用する力を育てる。
- ・ 理科 ① 自然にはたらきかける子どもを育てる。(観察、実験等)
② 事実を生活体験に照らし合わせて考えさせる。
- ・ 音楽 ① 音楽の楽しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しませる。
② 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わわせる。
- ・ 図工 ① 豊かな情操を養う。
② 表現及び鑑賞の活動を通して創り出す喜びを味わわせる。
- ・ 家庭 ① 家族の一員として衣食住についての基本を身につけ、日常生活に活用できるようにさせる。
- ・ 体育 ① 自分のめあてをもち、協力して運動させる。
② 健康状態に関心をもち、健康安全に気をつけさせる。
- ・ 生活 ① 身近な人や社会、自然にはたらきかける体験をさせる。
② 生活上必要な習慣や技能を身につけさせ、自立への基礎を養う。